

この概要は、令和5年1月13日に開催した茅ヶ崎市景観まちづくり審議会の速報として作成したものです。

詳細については、令和5年2月27日までに公表する予定の会議録でご確認ください。

(会議の概要)

令和4年度 第2回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会（WEB会議） 会議概要

日 時：令和5年1月13日（金）

14時00分から15時05分まで

場 所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室5

出席委員：水沼委員 三友委員 高橋委員 荒井委員 三澤委員 関口委員

（以上WEB会議により出席）

欠席委員：深谷委員

出席職員：後藤都市部長

【景観みどり課】田代課長 宮地主任 二階堂主任

1 開 会

2 議 題

（1）ちがさき景観資源の指定について『浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア』（諮問1号）

資料に基づき事務局が説明を行い、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・指定するあたりは調整区域で飲食店があまりないかと思うが、人を集めるためににぎわいの創出について考えたほうが良いと思う。また、そのために旧三橋家住宅の整備についても考える必要がある。
- ・指定範囲について、範囲を限定しないことにした判断に異存はないが、資料1－2を見ると境界を明確にした場合のメリットがデメリットを上回るように思えるので、範囲を限定しないことにした理由が資料に記載してある以外にもあれば教えていただきたい。
- ・本件以外のちがさき景観資源について、本件と同じようにエリアを指定していないものはあるか。
- ・景観に人の活動を含むという考え方が茅ヶ崎市の特徴的なところだと思うので、人の活動を含めた景観資源を指定するというのは素晴らしい取組だと思う。
- ・このエリアの今後の保存活用方策をどのように展開するか展望はあるか。
- ・今後の方策の中で説明のあった教育委員会など他部署との連携については求められることである一方、難しい面もあるかと思う。具体的なシステムを作り連携していただきたい。
- ・一つのモノとして指定していた今までと違い、エリアの指定という新しいやり方ということで、市民に景観の在り方をより幅広く捉えてもらいきっかけになると思う。次につなげていくことを期待している。
- ・「浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア」という名称で「交流」と「エリア」に大きな意味があると思うので、このエリアを指定する意味を上手に発信しながら今後につなげていただきたい。

3 報 告

（1）茅ヶ崎市景観計画前期報告書について（報告1号）

資料に基づき事務局が説明を行い、質疑応答が行われた。本件は当審議会でも引き続き審議を行う。主な意見は以下のとおり。

- ・中間評価ということで各事業がABCと評価されているが、今後5年後の総括に向けてオールAを

目指すのか、それとも現在 A と評価したものは次の目標に向かっていくものなのか、あるいは今後上方修正・下方修正するのか、各事業についての今後の取扱いの基本方針を知りたい。

- ・個々の事業について評価するとともに、景観計画が持っている基本目標に対して今どういう状況にあるのかという各事業を統合したような大きな視点での評価が必要。茅ヶ崎市の景観計画には 3 つの基本目標があるが、まずその基本目標について現在の状況を示し、その上で各事業について説明したほうが読み手には分かりやすい。
- ・景観計画の基本理念や基本目標を達成するためには行政が各事業を進めていくのはもちろんのこと、市民や事業者、学識経験者など多くのプレイヤーを巻き込むことも必要かと思うので、行政以外の方に分かりやすいように前期報告書を発信できれば良いと思う。
- ・小出川について河津桜など人が集まってにぎわいがあったり最近整備された河童徳利ひろばがあったり、何か景観計画と関連はあるか。
- ・市民が知っている茅ヶ崎の良い景観資源を汲み上げ、計画にフィードバックできる仕組みを考える必要があるのではないか。また、今回の評価でも市民の声を組み入れながらうまくブラッシュアップできれば良いと思う。
- ・総括にあたる部分がないので、報告書の最後に全体での総括があると良い。
- ・15 ページの特別景観まちづくり地区の指定について、達成できなかったというより、他事業の進捗によりやる必要がない事業かと思うので、「－」の表記とするなど表現を検討したほうが良いのではないか。

4 その他

- ・政策提言書について情報提供を行った。
- ・次回審議会の日程について報告を行った。
- ・審議会委員の任期について報告を行った。

5 閉 会